



## 福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	福島国際研究教育機構(F-REI)について
Alternative_Title	Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)
Author(s)	中西 友子(福島国際研究教育機構) Nakanishi, Tomoko M.(Fukushima Inst. for Research, Education and Innovation)
Citation	第 60 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集, p.3A01-01-01 The 60th Annual Meeting on Radioisotopes and Radiation Researches
Subject	セッション：特別講演 2
Text Version	Publisher
URL	<a href="https://f-archive.jaea.go.jp/handle/faa/277751">https://f-archive.jaea.go.jp/handle/faa/277751</a>
Right	© 2023 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 60 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。



## 福島国際研究教育機構 (F-REI) について Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

福島国際研究教育機構、東京大学大学院農学生命科学研究科

中西友子

(NAKANISHI, Tomoko M.)

### 1. はじめに

福島国際研究教育機構 (F-REI) は、福島復興再生特別措置法に基づき 2023 年 4 月に国が新たに設立した特別法人であり、そのミッションには、福島の復興の実現のため、世界に冠たる創造的復興の中核拠点を目指すことが掲げられ、山崎光悦理事長のリーダーシップの下、研究開発・産業化・人材育成・司令塔の 4 つの機能が発揮される取り組みが行われることとなった。そのためのロードマップでは第 1 期中期計画として 2029 年までの 7 年間に、事業規模として 1000 億円程度が想定されており、PI (研究代表者) 約 50 人と各 PI を支えるその 10 倍ほどの研究者数を見込む大きな研究体制が計画されている。

### 2. F-REI が取り組む研究課題

F-REI での研究課題は、2022 年に策定された新産業創出等研究開発基本計画に基づき、主務大臣からの指示による中期目標及び F-REI が作成する中期計画を踏まえ被災地の課題、国内外に誇れる研究課題を実施することであり、具体的には福島の優位性が発揮できる 5 分野についての研究課題である。

5 分野とは、①ロボット、②農林水産業、③エネルギー、④放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用、⑤原子力災害に関するデータや知見の集積・発信、である。放射線やアイソトープに一番関係する分野は④となるが、F-REI では各分野を融合した研究も行う予定である。例えば、ロボットやエネルギー分野で培われる技術を農林水産業に応用できないか、また放射線科学と農林水産業の融合、原子力災害のデータの科学的解析と放射線科学の融合など、今までともすると別々に開発されてきた研究分野の統合も視野に入れた議論が行われている。特に創薬医療の分野では  $\alpha$  線放出核種等を用いた新たな RI 医薬品の開発も含め世界最先端の研究開発の試みが行われる予定である。また、超大型 X 線 CT 装置設計も計画されており、装置設計と画像処理技術の開発により産業での活用が期待されている。

### 3. 現状と課題

本年 6 月現在、福島県双葉郡浪江町の仮事務所には各省庁からの出向者や地元雇用者も含め 50-60 人の方が活動を始めており、次第に事務局が充実し始めているところである。しかし用地の購入ならびに施設の建築はこれからであり、早期に機構全体の姿が整うことが期待されている。

Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo